

訪れたいまち

島根県松江市



水辺の木々や、水鳥、亀が甲羅干しする姿に心癒される堀川遊覧船。同日なら何度も乗り降りできるのも便利。奥に見える建物は、松江歴史館。

さまざまなおもてなしで観光客を呼び寄せ、
すべては「縁結び」にたどり着く。
旅の出会い、これもご縁。

縁結びのまち

「縁結び」と言うと恋愛や結婚を思い浮かべるのではないだろうか。

しかし、「人との出会い」「仕事に就くこと」「旅をすること」など、生きることすべてを意味するものとも言える。

「人とのご縁」を大切にする松江の、おもてなしをご紹介します。

城下町を楽しむ堀川めぐり

六道湖と堀川に見守られ、「水の都」と呼ばれる松江市。松江城を囲む堀は築城とともに造られ、ほとんどが今も当時の姿のまま残っている。この松江城下を遊覧船で巡る「堀川めぐり」は、塩見縄手の武家屋敷、江戸時代から生き残っているという老松など、風情ある町並みをゆったりと楽しむことができる。船頭さんが橋や石垣など、まちの歴史を語り、歌も披露してくれた。乗り合わせた観光客から拍手が起る。見知らぬ者同士会話を交わしたり、写真を撮り合ったり。これもご縁。

観光客の心をつかむツアー

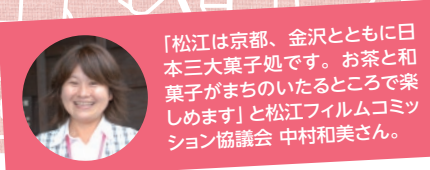
松江市でNPO法人が企画するユニークなツアーがある。「松江ゴーストツアー」。松江にゆかりのある小泉八雲の再話*の中で登場する、人食いの大亀という話の「月照寺」や子育て幽霊話の「大雄寺」などを、語り部とともに夕方から夜にかけて徒歩で巡る。闇夜に静閑な寺で語られる怪談は格別に恐ろしい。しかも、十数名の少人数。暗闇からお化けが登場する演出もある。

このツアーを企画したNPO法人松江ツーリズム研究会(以下、松江ツーリズム)が発足したのは平成17年。現在は、市の指定管理者として松江城や小泉八雲記念館など、施設の運営管理も行っている。

ゴーストツアーは国土交通省の「ニューツーリズム創出・流通促進



人気の松江ゴーストツアー。月照寺にある大亀の石像は迫力満点!



事業」に採択され、スタートした。小泉八雲の曾孫の小泉凡^{ほん}氏の講演を聞き、郷土料理を味わう「へるんコース」も好評。

松江ツーリズムの高橋保^{たもつ}旅行事業部



「お客様が心から楽しんでくれること、地域に貢献できることが喜び」と話す高橋部長。

縁結び娘がガイドの合間に声を掛けてくれた。『どちらからお越しですか?』この会話で観光客が楽しんでいるかさりげなく様子をつかがう。

ツアーをどのように設定しているのか、高橋部長に聞いた。『お客様が何を求めているか』に神経を注いで考えます。参加して下さったお客様で、強い関心を持ってくださる方にアンケート調査を行います。回収率は80%で、いただいた貴重なご意見は改善や次の企画に活かします」

実は、八重垣神社での縁結び娘の問いかけも、観光客がどこから来たのか、何泊するのかなど、貴重な情報となるそうです。

八重垣神社
の魅力を
ご紹介します!



縁結び娘が無料ガイドで素戔嗚尊(すさのおのみこと)と稲田姫(いなたひめ)の伝説、珍しい夫婦椿、良縁を占う鏡の池など、ガイドブックには載らないことも語ってくれる。ガイドを聞いてから神社内を散策すると、また違った姿が見えてくる。



2本の木が仲むつまじく交わった夫婦椿

鏡の池では貨幣を乗せた紙片が沈む早さや位置で良縁を占う。



五縁祈願祭

やえがき
八重垣神社
平成26年2月1日～3月16日
たまつくりゆ
玉作湯神社
平成26年2月1日～2月28日



あっぱれくんとしじみ姫
(松江市観光キャラクター)

駅から人の流れを変える

JR松江駅。空路で訪れるときも、陸路で訪れるときも、観光客は必ずと言っていいほどここを通る。言わば、松江市の玄関。今後、楽しいツアーを提供してくれるよう、目が離せない。

ガイドの育成も重要と高橋部長は言う。『ただ知識を語るだけではなく、お客様に感動を与えるガイドでなければ、来て良かったと思ってもらえません。ツアーを始めた当初は頻繁に研修を行い、徹底してガイド育成を行った。』

全国各地から松江ツーリズムの取り組みを視察に訪れる。『日本全国の観光地が良くなればいいと思っています。まずは、お客様に情報発信をしていくことが重要です』(高橋部長)。

「JR松江駅。空路で訪れるときも、陸路で訪れるときも、観光客は必ずと言っていいほどここを通る。言わば、松江市の玄関。」

この駅に「縁結びの広場」という待合スペースがある。初めて松江を訪れた観光客が、まず立ち寄って、荷物を下ろし、「さて、これからどう過ごすか」と一息ついて考える場所。2年前に37歳でJRの全国最年少駅長(当時)として着任した内山興(なり)駅長が考案した。

今までの待合室は、テレビを流しっぱなしで、ベンチに座った人がなかなか動かない、動きの無い場だった。それを「縁結びの広場」として、テーブルと椅子を置き、観光パンフレットをたくさん並べ、観光客が立ち寄る場とした。それだけではなく、ステージを設置し、時々コンサートなどのイベントを開催するように。観光客だけでなく、松江の住民たちも集まる動きのある場へと変わった。

「『縁結びの広場』という名前は市民の公募で決めました。駅は出会いと別れの場といふことからピッタリです。小さな場所ですが、地元にお住まいのお客様もご利用になる、遠方からのお客様は観光情報を仕入れに來られる。ふれあいが生まれればと思いました。イベントを催したり、情報発信の場でもあります」と内山駅長。

駅で一息ついた観光客が、目的の場所に行くのに流れが止まってしまわぬよう、改札内や構内に案内板を設置するなど工

夫し、観光客の質問にもすぐ答えられるように駅員がおもてなしに気を配る。

「改札から一歩出たら、『あとは観光案内所に行ってください』と言っつのは簡単です。しかし、観光客の方が期待と不安で到着した駅で、どんな情報を仕入れるかによって、その後の動きが変わってきます。駅から観光は始まっていて、すぐにお出迎えできる体制を取っています」(内山駅長)。



「改札の外側にも目を向けて地域を活性化させたい」と話す内山駅長。

ぜひ縁結びの旅へ!

縁結びと言えば出雲大社が有名だが、松江市にも縁結びを願う人々が訪れる縁結びスポットが盛りだくさん。良縁を祈願に訪れる若い女性のグループやカップルが後を絶たない。

松江の楽しみ方はいろいろ。自然や歴史・文化、地元の人たちの人情に触れながら、自分なりの「縁結び」を探しに出かけてみてはいかが?

MLIT レポート 島根県

全国各地で働く国土交通省職員が地元を紹介!

Reporter

中国地方整備局
企画部広域計画課長

河野 忠雄



中国地方整備局では、広島県尾道市と島根県松江市を結ぶ「中国横断自動車道 尾道松江線」を平成26年度までに順次供用しています。これによつて、広島県と島根県の行き来が活発になり、地域の活性化が期待されます。

たくさんの方に訪れていただくために、尾道松江線沿いの広島、島根両県9市町村に関する季節ごとの情報をまとめてマップにしました。

春には桜をテーマに「春の桜めぐり」として、おすすめスポットを桜の見頃とともに紹介。夏には夏遊びに最適な渓谷やキャンプ場、海水浴場などを「自然体験めぐり」として、秋には紅葉が楽しめるスポットを「秋の紅葉めぐり」として紹介しています。

これらのマップは沿線の道の駅などで配布していますので、ぜひ、活用ください。



松江自動車道にはサービスエリア・ガソリンスタンドがありません

早めの給油で
安心・快適ドライブ。

営業時間、営業日にご注意を。
特に夜間は営業している
店舗が少なくなります。



秋の紅葉めぐりマップなど、
季節に合わせた情報を
発信しています!



秋の紅葉
めぐり
マップ



自然体験
めぐり
マップ